

## 基本的な操作、画面の見かた

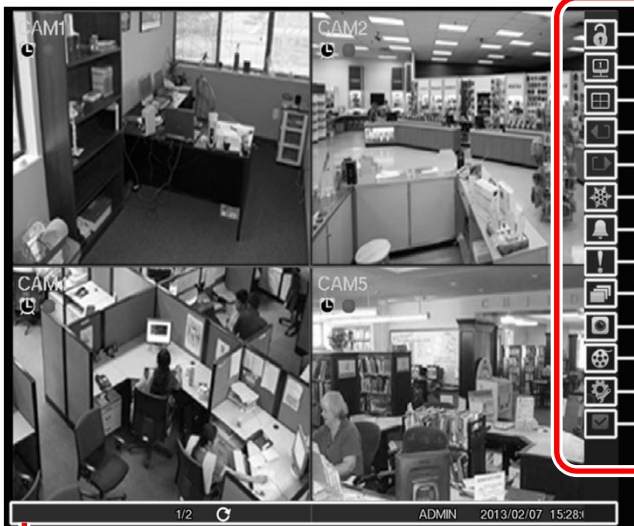
本機は、**前面パネル**のボタンまたは本機前面に接続した**マウス**（別売）で操作します。

### 前面パネルからの操作

十字ボタンでカーソル(強調表示)を移動して、決定(Ⓜ)ボタンを押して実行

### マウスからの操作

マウスポインターを選択したい位置に合わせて左クリックして実行



### ライブ監視モード (ライブ監視メニュー)

- ① ログイン/ログアウト
- ② モニター選択
- ③ 多画面選択
- ④ 画面送り(前)
- ⑤ 画面送り(次)
- ⑥ フリーズ
- ⑦ アラーム復帰
- ⑧ 緊急録画
- ⑨ シーン
- ⑩ カメラ設定
- ⑪ 検索
- ⑫ 設定
- ⑬ 状態

### 検索モード (検索メニュー)

- 検索
- 時間指定検索
- ブックマーク
- 多画面選択
- 画面送り(前)
- 画面送り(次)
- アラーム復帰
- 緊急録画
- カメラ設定
- 保存
- 状態
- メディア選択
- 終了

メニューを表示するには  
 [設定] ボタンを押す  
 マウスポインターを画面右端へ移動する

情報バー：日付/時刻、ユーザー名、残容量（上書き時はⓂ）、画面グループ番号、フリーズ❄、シーン📄、ネットワークの状態📶を表示

## ライブ監視メニュー

### ① ログイン/ログアウト

- 🔒 ログアウト状態 ⇒ 選択してログイン
- 🔓 ログイン状態 ⇒ 選択してログアウト

### ② モニター選択

メインモニターとスポットモニターを切り替え

### ③ 多画面選択

📄 表示パターンを選択して多画面に切り替え

### ④ 画面送り

⏪ で前画へ戻る、⏩ で次画へ送る

### ⑥ フリーズ

画面を停止（静止画表示）、再度選択で解除

### ⑦ アラーム復帰

アラーム出力と内蔵ブザーを停止

### ⑧ 緊急録画

全カメラ録画開始、再度選択で停止

### ⑨ シーン

あらかじめ設定したシーン動作を開始、再度選択で終了

### ⑩ カメラ設定

PTZ操作(RS485制御)、電子ズーム、音声出力 ON/OFF、色調整(輝度、コントラスト、彩度、色相)、多画面編集の各モードを選択

### ⑪ 検索

全てのカメラ：検索モードへ移行  
 トリプレックス：再生画とライブ画を同時表示

### ⑫ 設定

システムの設定画面へ移行

### ⑬ 状態

各種イベントの発生状態やハードディスクの状態を確認する状態画面へ移行

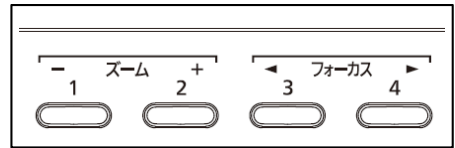
# カメラを選択する・表示を切り換える

## カメラを選択してライブ画像を表示するには

**前面パネル** カメラボタンを押す

または

**マウス** 多画面上のカメラ画像を選択する






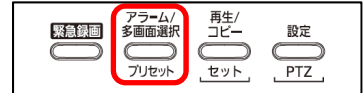
前面パネルのカメラボタン

## 多画面を表示するには

**前面パネル** [多画面選択] ボタンを3秒以上押す  
⇒ 押すたびに表示パターンを切り換える


または

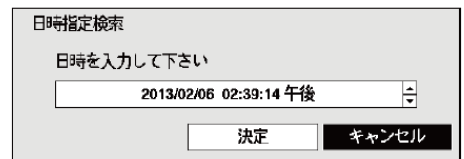
**マウス** 画面右端のメニューの  (多画面選択) ➡ 表示パターン の順に選択する  
表示パターン:  (PIP)  (2x2)





# 再生する

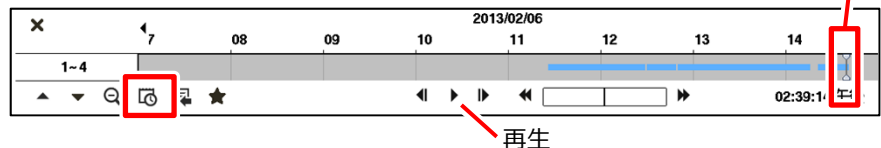
## 日時を指定して再生する


- 1 検索メニューの  (時間指定検索) ➡ 「日時指定検索」 の順に選択する
- 2 検索日時を変更して、「決定」を選択する  
⇒ 指定した日時で再生を開始します。



## タイムラインから指定して再生する

- 1 検索メニューの  (検索) ➡ 「録画テーブル検索」 の順に選択する  
⇒ 録画テーブル検索画面を表示します。
- 2 再生位置マーク  を移動させて再生位置を決め、▶ (再生) を選択する  
⇒ 指定した日時で再生を開始します。



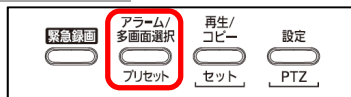
- 3 日付を変更する場合は、左下の  を選択する  
⇒ カレンダー検索画面が表示されます。
- 4 カレンダーから日付を選択する  
⇒ 選択した日付の最初の録画画像が静止画で表示されます。



- 録画映像がある日付は太字で表示されます。
- カレンダーの月を切り替える場合は、< > を選択します。

## 履歴から選択して再生する

1 **前面パネル** [アラーム] ボタンを押す  
または



**マウス** 検索メニューの 🔍 (検索) ➔ 「イベントログ検索」の順に選択する

⇒ イベントログ検索画面を表示します。

2 再生したいイベントの日時部分を選択する

⇒ 選択したイベントの最初の画像を表示します。

### 条件で絞り込む場合：

絞り込み条件を入力して「決定」を選択する

イベントログ絞り込み条件

開始  初め 2013/02/07 15:14:44

終了  終わり 2013/02/07 15:14:44

条件管理設定

アラーム入力 1-4  システムイベント

VMD 1-4  緊急録画

ビデオロス 1-4  録画選択結果

映像遮断 1-4  アラーム入力確認

TestIn 1-4  ディスクフル警告

録画CH 1-4  ディスクエラー

ディスク温度

ディスク S.M.A.R.T.

ディスク構成変更

FANエラー

決定 キャンセル

イベントログ検索

時間	タイプ	タイトル
2013/02/06 12:08:36 午後	ビデオロス 4	CAM4
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 3	CAM3
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 2	CAM2
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 1	CAM1
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 4	CAM4
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 3	CAM3
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 2	CAM2
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 1	CAM1
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 4	CAM4
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 3	CAM3
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 2	CAM2
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 1	CAM1
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 4	CAM4
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 3	CAM3
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 2	CAM2
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 1	CAM1
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 4	CAM4
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 3	CAM3
2013/02/06 12:07:51 午後	ビデオロス 2	CAM2

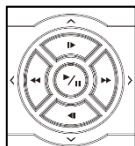
条件... (highlighted with a red box)

同じる

ページ切換

## 再生中の操作

**前面パネル**



または

十字ボタン、再生ボタンの機能は次のとおりです。

◀ 前の画像に戻る      ⏸ 再生/一時停止      ▶ 次の画像に進む  
 ◀◀ 高速巻き戻し再生      ⏩ 早送り再生

**マウス**

マウスポインターを画面下端に移動すると再生バーが表示されます。



◀ 前の画像に戻る      ⏸ 再生/一時停止      ▶ 次の画像に進む  
 ◀◀ 高速巻き戻し再生      ⏩ 早送り再生

● 早送り再生、高速巻き戻し再生の再生速度は、表示画面数によって以下のように変わります。

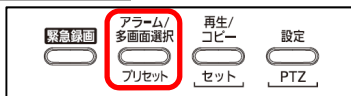
1画面表示時：通常速度 ⇒ 約5倍速 ⇒ 約15倍速 ⇒ 約50倍速  
 多画面表示時：通常速度 ⇒ 約4倍速 ⇒ 約12倍速 ⇒ 約40倍速

## アラーム、エラー発生時には

アラームやエラーが発生すると、アラーム動作やエラー動作が実行されます。

### アラーム動作、エラー動作を解除する

アラーム発生中に・・・



1 **前面パネル** [アラーム] ボタンを押す  
または

**マウス** ライブ監視メニューまたは検索メニューの 🔔 (アラーム復帰) を選択する

⇒ アラーム出力と内蔵ブザー出力を停止します。

# 録画画像をUSBメモリーにコピーする

クリップコピー画面で録画範囲などを指定して録画画像をUSBメモリーにコピーします。

## 開始・終了日時を指定してコピーする

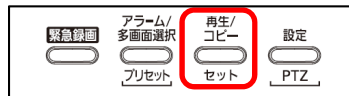
ライブ監視モード中に...

1 **前面パネル** [コピー] ボタンを3秒以上押す

または

**マウス**

検索メニューの  (保存) ➡ 「クリップコピー」を選択する



⇒ クリップコピー画面を表示します。

2 コピーするための以下の情報を入力する

- ① 「開始・終了」で時間を時間範囲指定する
- ② 「チャンネル」でカメラを指定する
- ③ 「パスワード」で再生時に必要なパスワードを入力する
- ④ 「コピー先」で保存するメディアを選択する
- ⑤ 「ファイル名」で保存ファイル名を指定する

3 「開始」を選択して、USBメモリーのデータ容量確認画面の「継続」を選択する

⇒ コピーを開始します。


- データ容量確認画面で「キャンセル」を選択すると、コピーを終了します。「閉じる」を選択するとコピーを継続したまま画面を閉じて他の機能を使用することができます。(コピー完了時に確認画面を表示)
- 一回の指定でコピーできるデータサイズは30GBまでです。2GB単位でファイル保存されます。
- コピー中は、USBメモリーを外さないでください。

### コピーした映像の再生方法

再生は本機またはUSBメモリーを認識可能なPCで行います。実行ファイル (EXE) 形式で保存されるため、PCに専用ビューワーは不要です。

## A-Bクリップコピーでコピーする

再生映像を見ながら開始日時(A)と終了日時(B)を指定して、USBメモリーにコピーします。

- 1 **マウス** 再生中に検索メニューの  (保存) ➡ 「A-Bクリップコピー」を選択する (一時停止、▶表示) ⇒ 開始日時(A)が指定される  
→ 再生再開後「A-Bクリップコピー」を再度選択する ⇒ 終了日時(B)が指定される  
⇒ クリップコピー画面 (指定した開始・終了日時) を表示します。上記手順2以降を実施。